

# 地域での日頃の備え：共助

## ▶ 自主防災組織とは

- ・災害発生時はもちろん、日頃から地域のみなさんが一緒になって防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」と言い、有田町では、おおむね地区ごとに組織されています。
- ・平常時には防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出救護、集団避難、避難所への給食、要支援者の補助などの活動を行います。

### 情報班



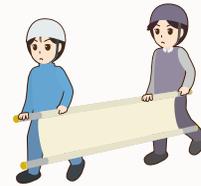
### 消火班



### 避難誘導班



### 救出救護班



### 給食・給水班



<b>平常時</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民に対しての連絡体制、手段の検討</li> <li>●情報収集・伝達訓練の実施</li> <li>●防災意識の啓発、高揚に関する広報</li> <li>●公的防災機関との連携確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初期消火訓練の実施</li> <li>●消火用水の確保、確認</li> <li>●出火防止の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事前に避難路、避難場所を把握</li> <li>●避難誘導訓練の実施</li> <li>●避難路の安全点検</li> <li>●<b>※危険箇所(がけ、ブロック塀)などの確認等</b></li> <li>●避難行動要支援者の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応急手当、衛生知識の普及</li> <li>●救命講習への参加</li> <li>●応急医薬品、救助資機材の確保、点検</li> <li>●技能、ノウハウを持った住民の把握</li> <li>●救助用資機材の点検・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食料、飲料水の個人備蓄についての普及啓発</li> <li>●炊き出し訓練の実施</li> <li>●炊き出し用資機材の確保、点検</li> </ul>
	<b>災害時</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害情報を住民に対して正確かつ迅速に伝達</li> <li>●地域内の被害情報を収集し、本部へ報告</li> <li>●混乱回避、出火防止等の広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初期消火活動</li> <li>●<b>※消防署、消防団の到着までの延焼拡大を防ぐのが基本ですので無理はしないこと!!</b></li> <li>●情報班と連携しての出火防止等の広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報班と連携しての避難の呼びかけ</li> <li>●安全な経路を選択しての避難誘導</li> <li>●避難行動要支援者の避難支援</li> <li>●避難所での安否確認</li> <li>●安否確認による救出救護班への情報伝達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難誘導班と連携しての速やかな救出</li> <li>●<b>※救出活動は危険を伴う場合があるため、二次災害に十分注意してください</b></li> <li>●負傷者の搬送、応急手当の救護</li> <li>●避難所・救護所での救護活動への協力</li> </ul>

## ▶ 特に配慮を要する方々への支援

障がいのある方など、災害時特に配慮を要する方々は、災害発生時の対応に地域のみなさんの支援が必要となるため、地域で協力し合いながら、安否確認、避難所への移動、避難生活を支援しましょう。

### 高齢者・病人

- おんぶ(または担架、リヤカーなどを利用)して安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



### 目の不自由な方

- 声をかけ、情報を伝える。
- 誘導する場合は、誘導する人のひじの少し上をつかんでもらい、半歩手前をゆっくり歩く。



### 車いすを利用している方

- 階段では2人以上が必要。
- 上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おんぶして避難する。



### 耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

